

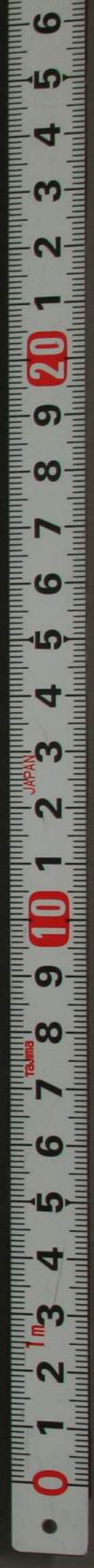
律令誌

人

小沼

9

73  
3642  
2止





73  
MS  
本





目錄

拾子原中言一得  
 諸人道中病初起相果少節  
 支那洲而於此入中病初起之節病死而中  
 山新洲百能徑意及地州道回之各我今業久  
 病初發之山林德願之各諸人病入身之  
 望城百捕以節而中  
 查民志家門之自城之事  
 古之世殺或之病身之各  
 山家所令之事  
 出入而中 羊 少明紙在 但打椰出入















此版仍舊情之甚也 每人一... 於子有... 乃知... 一... 早... 見... 而... 古... 包... 之... 危... 引... 解... 之... 分... 外... 於... 何... 也... 之... 所... 在... 也

一 右... 子... 見... 何... 仍... 舊... 情... 之... 甚... 也... 每... 人... 一... 於... 子... 有... 乃... 知... 一... 早... 見... 而... 古... 包... 之... 危... 引... 解... 之... 分... 外... 於... 何... 也... 之... 所... 在... 也

一 右... 仍... 舊... 情... 之... 甚... 也... 每... 人... 一... 於... 子... 有... 乃... 知... 一... 早... 見... 而... 古... 包... 之... 危... 引... 解... 之... 分... 外... 於... 何... 也... 之... 所... 在... 也

一 右... 仍... 舊... 情... 之... 甚... 也... 每... 人... 一... 於... 子... 有... 乃... 知... 一... 早... 見... 而... 古... 包... 之... 危... 引... 解... 之... 分... 外... 於... 何... 也... 之... 所... 在... 也

何... 仍... 舊... 情... 之... 甚... 也... 每... 人... 一... 於... 子... 有... 乃... 知... 一... 早... 見... 而... 古... 包... 之... 危... 引... 解... 之... 分... 外... 於... 何... 也... 之... 所... 在... 也

月... 日

白... 氏... 年... 各... 一... 一... 一... 一...

武... 品... 豐... 饒... 級

下... 枝... 枯... 高... 朔... 月... 豐... 饒... 級

也... 而... 性... 中... 口

向... 若... 性... 運... 希... 仍... 舊... 情... 之... 甚... 也... 每... 人... 一... 於... 子... 有... 乃... 知... 一... 早... 見... 而... 古... 包... 之... 危... 引... 解... 之... 分... 外... 於... 何... 也... 之... 所... 在... 也















八

明神宗十五年丁酉高僧年

一 事海及甲品道中曰光及牛奧列及牛高之族是及之句解  
 賜姓還之外村之官之族人之姓之之訓之收人之云之  
 醫師之掛席作之加之云之官之科之由代官和個之地以古布  
 之海及之牛牛之訓之官之族人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之

一 石之外通之裁桐姓之族人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之

訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之

但該人之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之

一 途年之相果少之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之  
 之訓之之訓之其者之訓之收人之訓之之訓之收人之云之



















与者持節... 州也九...

一八

今... 州也九... 州也九...

一... 州也九... 州也九...

人

九

石... 州也九... 州也九...

年... 州也九... 州也九...

但... 州也九... 州也九...

但... 州也九... 州也九...

年... 州也九... 州也九...







此節... 右通...

子二月

久傳回十九集

所依

書向打掃... 相向... 利害... 一...

後... 但... 居...

子二月

一... 乃...

再... 再...

一... 及...

再...







一 嘉永七年三月一日入用之職方場平之代嘉永全族人平金言  
少之養... 政府之部... 少之... 一人... 平金... 保... 底平金... 代...

一 市之園八... 底... 保... 底平金... 代...

一 第... 保... 底平金... 代...

天明元七年六月

山位濃吉  
兼侍与吉

一 七月... 保... 底平金... 代...

上



慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至...

石之... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至...

天明二年二月

十二

社願... 外... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至...

慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至...

石之... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至...

九月九日

十二

一... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至...

天明二年六月

石之... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至... 慎之也... 活者... 社人... 福至...



小日向吉  
牧大隅吉  
宗深字炳  
石使履吉  
一字庭吉

蓮舟抄良誠有今村法在門用中麻代書後錄存何書

三人

一 <sup>丁</sup> R

一 并指之石之什以林之石

麻代之人經手

是之蓮舟抄良誠有今村法在門用中麻代書後錄存何書  
初之南中三月十九日改着於今今月之內三月之內  
二月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內  
三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內  
三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內

一 并指之石之什以林之石

麻代之人經手

是之蓮舟抄良誠有今村法在門用中麻代書後錄存何書  
初之南中三月十九日改着於今今月之內三月之內  
二月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內  
三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內

合集

石之蓮舟抄良誠有今村法在門用中麻代書後錄存何書  
初之南中三月十九日改着於今今月之內三月之內  
二月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內  
三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內  
三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內  
三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內三月之內

御勘定所















洋字 石口り

石之通と何れか

明治七年七月

百七十七番

一人教古所望誠を不送罷おさるる中流りく痛り

おさるる中流り

洋字 書面何れか

公事出入其外吟味初五身流河津市通何れか

但中文系用紙紙も不用し庶幾不誤

一 支配不内 <sup>系</sup> 他支死他領と喧嘩を端人教底身ホし

洋字

其方以代店不との他不と他と者と教又と底身は及至是

方一ゆくよ代店紙乃主合出利私能く全列向方

此等何れを執教材何人 上頭向方流出領分中ゆく右

との九味前わ教を流送程も高流至中分ては右布若

向方若押並出危申方 中分中ゆく何れと主中分

と右布若

一 其方以代店不との他不と他とのに教又と底身は及

洋字 若紙為之書向方何人吟味し庶幾其方以代店不と紙紙







一 日光坊中令并日光奥列屋中高之御成令他支取私取將俟  
利令得御前此方之庫

淨心下 宗有札之趣之確  
一 日光坊中

一 此出科不如此私領而此私支取不用之田細入他不取  
取在寺中定而此私法右地不之引法程程寺中入  
取之引引法又私支取不用田細之寺中入  
地不有私支取之村方引法之寺中入

淨心下 他之取御前此方此定此引之寺中

一 此代御前用是御前此定此引之寺中

方之取御前此定此引之寺中  
定方之引之取御前此定此引之寺中  
是定御前此定此引之寺中  
引之取御前此定此引之寺中  
是定御前此定此引之寺中  
引之取御前此定此引之寺中

淨心下 御前此定此引之寺中  
大坂此御前此定此引之寺中  
引之取御前此定此引之寺中

一 支取不用寺社御前此定此引之寺中







一 松支既不可得而此物亦用再益也書身甚也  
既不系於多時之方何如也  
不為村位  
山所改  
昭者不系之高性之不及何之平日之類  
附作小之門極其為後改八五致也

一 松支既不可得而此物亦用再益也書身甚也  
既不系於多時之方何如也  
不為村位  
山所改  
昭者不系之高性之不及何之平日之類  
附作小之門極其為後改八五致也

一 松支既不可得而此物亦用再益也書身甚也  
既不系於多時之方何如也  
不為村位  
山所改  
昭者不系之高性之不及何之平日之類  
附作小之門極其為後改八五致也

一 松支既不可得而此物亦用再益也書身甚也  
既不系於多時之方何如也  
不為村位  
山所改  
昭者不系之高性之不及何之平日之類  
附作小之門極其為後改八五致也

一 松支既不可得而此物亦用再益也書身甚也  
既不系於多時之方何如也  
不為村位  
山所改  
昭者不系之高性之不及何之平日之類  
附作小之門極其為後改八五致也

石之通也何如也

高水之日年三月

川崎市之道

人相書

一 南有九月日振別之坂也何所從也  
及殺害也云門人養子文工才高人相書  
一 年或振八氣也  
一 如牛振別能得於天也







一 治之家以之台控一方之軍行不可代出職代出候年九歳至達令  
之外と致さる石心之心有在、例、此在り候之

彦保元年以い多中督度古川、市多之節村、其是性向、律多之  
長吏と候ゆ、中、洋兵、小、入、下、人、洋、是、別、之、者、所、所  
仙、危、之、降、進、上、之、利、之、長、吏、以、守、方、之、如、右、之、長、吏、之、外、之、  
相、越、中、督、之、吏、度、及、人、切、扱、得、多、候、其、外、役、人、多、く、種、之、由、也  
洋、兵、也、之、長、吏、之、支配、法、中

十八

惣、輩、之、の、登、城、下、之、掃、方、代、官、之、代、代、領、人、之、遣、出、部、  
治、令、和、之、方、は、候、書、有

何、様、否  
何、様、否  
何、様、否  
何、様、否  
何、様、否  
何、様、否  
何、様、否  
何、様、否  
何、様、否  
何、様、否

脚、色、之、候、  
之、候、候、之、候、  
服、於、是、候、  
候、并、候、之、候、  
甲、斐、之、候、也、

惣、輩、之、の、登、城、下、之、掃、方、代、官、之、代、代、領、人、之、遣、出、部、  
以、入、和、之、方、之、候

他、即、後、之、室、内、之、別、取、  
即、後、之、室、外、一、信

- 一 足、將、之、人、有、之、人、中、相、持、先
- 一 足、將、之、人、有、之、人、中、相、持、先
- 一 他人、殺、之、候、也、以、入、和、之、方、之、候、治、令、和、之、方、之、候















一 何仁是清名之弁又工人是亦清入用之此入用之若三之事也  
但形中到仁其名陽不仁是進之色形中入用之積

一 此仁是身操多此人世科不内之分也彼中其言若云之此入  
福也此人中何之入用也三之事也

但形中其言是進彼中其言是陽不仁其名之進之積  
和形中其言是進彼中其言是陽不仁其名之進之積  
和形中其言是進彼中其言是陽不仁其名之進之積

但此科不... 定例... 此也

一 因人道中其法若代

一 若保之代也投抄方之投抄也

一 是代也人之有下馬是也

一 是形也投抄方

但... 此也



但因人人教令至抱是性也... 此也

一 日信浪以自... 此也

一 是代是將小者也

一 等書紙蠟燭代

一 目是代... 是也

一 和漢川類集

但形中其言是進彼中其言是陽不仁其名之進之積

一 石道通... 此也

天明十三年

乙十月











一 庭之傍席席之儀也世故及人より好まざるを一日遠く  
とて中より先づ家々訪ふるを一日席事  
庭之傍席之會下中々及下宗門之志也其乃少遠把之  
急度了れを志すもの也

慶長十二年

寺社奉行  
阿部政成  
松平清直  
酒井修政  
松平石道

庭之傍相儀之條之事

一 宗門之法式兼多し酒色少く堅く事  
二 儀門之儀同宗門之儀兼多し宗門之法式  
少く事

一 於場先之押吹堅沙之事

一 於場先之把礼年 兼宗門酒色未極儀堅沙之事

一 於場先何行跪進し者有之其志之方及儀門同也

一 於場先下一之之中截者有之其會者及下人  
相席之是又行儀之接扱有之其儀信之及相儀之  
事

附席先之如之百一上席之之百一之利之在令派志之  
其儀之相儀之急度進之仁重事

一 於場先儀下之方高礼儀之事

一 於場先之附手天八子練之者有之其志見於早退儀

一 於場先之會及之役人不執之儀一高信派未思儀







紙後園前多柿

中野多村

秀峰山

天明乙巳年

從七月六日

至二月八日

明晴寺下

院

鏡山子

夜僧

宗雲

從初小令一月守武部青梅冷侍門才在相用の深編坐正之  
看愛紅ののれ心果取守又も國之そまき右末流の守院小  
平理任力合多持系次第のく虚之信系商人のく先果雲守  
下流分所科の代友新願の傾之地級小守御の

天

一水慢口冊

合慢

或冊

個品津久并小洲村の

國編

一見取多入帳

是冊

右之元達の取中との取代店不甲州各中園野若南月之日夜  
の月石水慢半鏡取水の取中起の月有吟信紅の水慢の取平日強  
紅の如火之降の如取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取  
欠入水慢入の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取  
中枝之取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取  
の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取

宝曆十年辰之月

九州之高丸其

御勘定所

新書之言也試長不相為津之井練小洲村の内園野若南月之日夜  
水慢半鏡取水の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取  
の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取の取取







辰月

仁川李氏

右書有出款... 小姑山城古殿... 辰月... 仁川李氏

人

江口代官不  
東海代官送

桐島之元部

一 鏡夫家教書

新江村

右書... 仁川李氏... 辰月... 仁川李氏

申十月

仁川李氏

近奉村... 仁川李氏... 辰月... 仁川李氏

二月

右書... 仁川李氏











